

かわさき アートニュース

Vol.252
2017.06

CONTENTS [目次]

02 | 特集

「能」を全身で体感する三日間

夏休み能楽体験・鑑賞教室

インタビュー：鵜澤 光さん

(シテ方観世流能楽師)

04 | 音楽

ミューザ川崎シンフォニーホール

07 | 歴史・文化

東海道かわさき宿交流館

08 | イベントレビュー

09 | 美術

市内ギャラリー情報

12 | 特集

新百合ヶ丘で豪華レビュー公演開催

13 | 演劇

アルテリオ小劇場

14 | 映画

アルテリオ映像館

夏休み 能楽体験・ 鑑賞教室



「能」を全身で体感する三日間 夏休み能楽体験・鑑賞教室

インタビュー：鵜澤 光さん
(シテ方観世流能楽師)



毎年夏に川崎能楽堂で開催し、今回27年目を迎える「夏休み能楽体験・鑑賞教室」。
子どもから大人まで誰でも参加でき、本格的な能舞台の上でお話・実技体験・鑑賞を通して日本の伝統芸能「能」について学んでいただきます。

長年この教室を指導してきた観世流の鵜澤久さんと鵜澤光さんは、国内外で活躍する親子二代の女性能楽師です。

今回、最終日の鑑賞で能「小鍛冶」のシテ(主役)を勤める鵜澤光さんに、この体験教室の魅力についてお話を伺いました。

能を身近に感じられる三本の柱 ——「夏休み能楽体験・鑑賞教室」は、どんな教室なのでしょう？

この教室は、お話、実技体験、鑑賞という三本の柱で構成しています。

初日は、幅広い年齢層の誰もが分かりやすいように「能とは何か」ということを、できるだけ簡単な言葉を使いながらお話をします。最初は皆さんの頭に疑問符が浮かんでいて、「自分にできるのだろうか」と少し動揺されている様子が伝わってきますが、2日目に仕舞や謡、お囃子の楽器を体験していただくと、「実際に身体を動かしてみたら面白い」と実感してくださるようです。

そして迎える最終日。演能が始まり実際にお稽古した場面が出てくると、皆さんと一緒に口ずさんで見てくれている様子が舞台上から分かって、嬉しくなります。全員が楽しんで一生懸命集中して鑑賞してくれる雰囲気、私はとても好きです。

最後には質問コーナーがあります。小さな子どもたちも頑張って質問してくれたり、感想を言ってくれたりするのですが、それが良い所について、私たちにとっても新しい発見があります。

能について理解したうえで、実際にお稽古をして、鑑賞するから質問ができる。その距離の近さ、3日間共に戦った仲間たち、と

いう雰囲気で終わられるのがこの教室の特徴だと思います。

——今回は「小鍛冶」という演目をとりあげますね。この演目についてお聞かせください。

ストーリーが分かりやすく、少し派手な演出で見どころが多いので、見ていて楽しく、皆さんに体験していただくのにちょうど良い曲だと思って選びました。

「小鍛冶」には動きの見せ場が何箇所かあるのですが、今回は、後半の刀を打ち終わったあとに、狐が刀を持って「僕が打ったんだぞ」といわんばかりに所作をする、その場面を取り上げたいと思っています。小さなお子さんには、刀職人と狐が刀を一緒に打つところを演じてもらってもよいかなと思っています。

その年代ごとの花が咲く

——これまでの体験教室の様子をお聞かせください。

体験当日は、いくつかのグループに分けて指導をしますが、グループによって個性が異なるところが、とても面白いです。物まねが上手い人や苦手な人、頭が柔らかい人や固い人、それぞれに合わせて教え方を変えるのですが、指導のあとは一歩も動けな

くなるほどの疲労感です。

でも、こちらが死ぬ気で教えると、皆さんが一生懸命返してくれる。そのやり取りが、辛いけど楽しいし、それがこの川崎の体験教室の良いところだと思っています。

また、別のグループの稽古をしっかりと見て予習したグループは、すぐ上手く再現することができます。「人の稽古は自分の稽古」と、よく私の祖父が申しておりましたが、実際にその場面を目の前で見ると、いつも感動します。

これまで2歳から80歳までの方に体験してもらいましたが、小さなお子さんでも周りに引っ張られて、なんとかできてしまうものです。世阿弥も言っていますが、能にはその年齢ごとの旬があります。10代から80代まで、きちんと努力していれば、その年々で花が咲く。子どもは子どもなりのやり方で、80歳だったら80歳なりの花が咲けば良い。能はとても息の長い芸能です。



鵜澤 光(うざわ ひかる) プロフィール

1979年生まれ。シテ方観世流能楽師。鏡仙会所属。1982年に初舞台。1992年に能「狸々」で初シテ。2002年東京藝術大学邦楽科能楽専攻卒業。幼少より祖父故鵜澤雅、母 鵜澤久に師事。大学卒業と同時に鏡仙会に入門し、九世観世鏡之丞に師事。演能団体鏡仙会を中心に活動し海外公演にも多数参加。一般、学校での講演、ワークショップなども積極的に手掛ける。2015年より洗足学園音楽大学音楽教育コースにて能楽を指導する。2017年より立教大学非常勤講師。



体験1日目「能のお話」(左:鵜澤光さん 右:鵜澤久さん)



体験2日目「大鼓の体験」

参加者に全力でぶつかる

—— お母様である久先生に代わり、光先生が主に指導をされるようになって3年が経ちました。

私が小学校6年生の時にこの川崎能楽堂での体験教室が始まり、もう20年以上いろいろな人が体験するのを見つめてきました。それでも毎年新しい発見があって「こういう風に言えばもっと伝わるかな」と毎年修正を加えながら指導しています。

母から徐々に受け継いではいませんが、私の指導中に「それじゃちょっと…」と、勢いよく責めてきたりするので、負けちゃいけないと思ってやっています(笑)。

力いっぱい、手を抜かずに、玄人であっても素人であっても同じように本気でぶつかるというのは、祖父や母から受け継いできた指導方法なので、それは絶対に曲げないで続けていきたいと思っています。それはある意味、自分自身を鍛える時間でもあります。

伝えたい能の魅力

—— この体験教室を通して、能のどんなところを伝えたいですか？

能は日本人に向いている芸能だと思います。何故かという、「私を見て」と前に出なくても、決められたことをきちんと守って綺麗な型でやれば、自然と成り立ち、その人の個性が見えてくるからです。それが能の魅力で、その面白さを実感してもらいたいですね。

そして、自分に対して新たな発見をしてもらいたい。「私はこんなに大きい声が出せるんだ」などと、今まで気付かなかった自分自身と出会っていただく時間になったら楽しいだろうと思います。

また、能は豊かな想像力を養います。能舞台はとてもシンプルで、舞台装置も殆どありません。唯一、地謡が謡う言葉だけで場面を想像していただくのは大変なことですが、ある意味、自由に想像して観ることができるので、そこが能の楽しいところだと思います。もちろん、知識もなくいきなりは難しいので、事前のお話で「ここは押さえておいて」というルールを共有します。700年前の人と想像力対決をするぐらいの気持ちで観ていただければうれしいですね。

実際に舞台上に立って、一つの場面を完成させるところまでやると、深く感じるもの

があるはずです。体験を通して、能を身近に感じ、好きになってもらいたいです。

体験教室を通じて派生する人材

—— 教室に参加したあともお稽古を続ける人が多いそうですね。

この体験教室がきっかけでお稽古を続け、能の研究者になった方もいます。海外へ留学して、日本文化の紹介で能を舞って説明したという報告も多く頂きます。また、川崎市内の小学校の先生になった方が、私たち親子を学校に呼んでくれて、ワークショップをしたこともありました。

小学校でのワークショップも全力で指導します。映像だけ見せたり、口で説明して少しだけ舞ってみせたり、いくらでも楽をして教えることはできますが、こちらが体を使わないと伝わらないと思っていますから、身を粉にして伝える。それに一人でも多く応えてくれるとうれしいですね。いずれは川崎市内の全ての小学校でワークショップ、ゆくゆくは能の公演をしたいという野望を持っています。

能を紡ぐ人たちを増やしたい

—— 能の未来についてどのようにお考えですか。

人から人へと紡がれてきた能という芸能は、一度も途絶えることなく700年間続いてきました。それは親から子だけではなく、先生から弟子だけでなく、体験して能に興味を持った方が、また別の人に勧める。それも紡いでいく一つだと思うので、皆さんに能の親善大使になっていただきたいと思っています。

せっかく2020年に日本でオリンピックをやりますから、この機会に日本の文化である能を、自分の言葉で話せる人を増やしたい。川崎の小学生たちが、能の一場面を演じ、お話できるという風になれば、外国からきたお客さんや選手団がびっくりすると思います。

以前、私がアイルランドにホームステイした時に、アイルランドの伝統的な踊りをその家の子どもたちが教えてくれたことがありました。学校で伝統的な文化を学ぶプログラムがあることに驚き、「これが能だったらいいのにな」とすごく思いました。

私たち能楽師は、教える気が十分にあるので、能を体験できる機会がもっと増えればいいなと思います。

開催概要

Information

第27回 夏休み能楽体験・鑑賞教室

日時／7/27(木) 13:00～15:00

能のお話

7/28(金) 9:30～11:30(午前の部)

13:00～15:00(午後の部)

仕舞・謡、笛、小鼓、大鼓、
太鼓の実技体験

7/29(土) 13:30開演
能『小鍛冶』の鑑賞

会場／川崎能楽堂

講師／鵜澤 久、鵜澤 光 ほか

受講料／2,500円(鑑賞料・教材費を含む)

定員／100名(抽選)

申込締切／平成29年7月7日(金)

募集対象／年齢制限なし

申込方法／川崎市文化財団のHPより申込フォームをダウンロードし、必要事項を記入のうえFAX(川崎市文化財団 044-222-8817)にてお申し込み下さい。

官製ハガキの場合は、住所、氏名、年齢、電話番号、7月28日(金)の体験を希望する時間帯(午前か午後)、足のサイズ(足袋の貸出を希望する方)を記入のうえ、下記までお送り下さい。

〒210-0007

川崎市川崎区駅前本町12-1

タワーパーク3F

川崎市文化財団 夏休み能楽体験係

主催 ● こども能楽体験鑑賞教室を支える会・

公益財団法人 川崎市文化財団

3日目の鑑賞教材 能「小鍛冶」ストーリー

高名な刀職人である三条宗近^{むねちか}のもとへ、帝から使いがきて「刀を打って献上せよ」と伝えます。刀を打つときには、自分に劣らぬ腕を持った人が相槌を打ってくれないと良い刀ができないので、宗近は返答を渋りますが、命令なので仕方なく引き受けます。

宗近が、氏神である稲荷明神に行き「なんとかして下さい」と祈っていると、一人の童子が現れ、刀にまつわる色々な伝説を語り、「とにかく刀を打つ準備を進めなさい。私が君の力になる」と言って、稲荷山に消えて行きます。

宗近が準備を整え神に祈っていると、そこに稲荷明神の使いの狐が現れて、宗近と一緒に刀を打ちます。完成したその刀を無事、帝の臣下に献上して、めでたしと終わります。



ミューザ川崎シンフォニーホールのおすすめ公演

お申込み・お問合せ◎ミューザ川崎シンフォニーホール ☎044 - 520 - 0200(10:00~18:00)

ミューザ川崎シンフォニーホール&東京交響楽団 名曲全集第128回 道義イチオシ狂詩曲

6月11日(日) 14:00開演(13:30開場)

S席6,000円 A席5,000円 B席4,000円 C席3,000円

奇才 井上道義が選り抜いた「ラプソディ(狂詩曲)」ばかりのひととき。西欧の国々に交じって、日本の作曲家の作品も取り上げられます。ぱんだウインドオーケストラにてコンサートマスターを務める俊英、上野耕平のソロにもどうぞ注目ください。

出演

指揮:井上道義
アルト・サクソフォン:上野耕平
管弦楽:東京交響楽団

プログラム

《ラプソディ特集》
シャブリエ:狂詩曲「スペイン」
ドビュッシー:アルト・サクソフォンと管弦楽のための狂詩曲
リスト:ハンガリー狂詩曲第2番
伊福部昭:日本狂詩曲
外山雄三:管弦楽のためのラプソディ ほか



井上道義 ©OEK



上野耕平

川崎信用金庫Presents

MUZAランチタイムコンサート/ナイトコンサート60 東京交響楽団ヴィオラ四重奏

6月6日(火) ランチタイム12:10開演(11:30開場)/ナイト19:00開演(18:30開場)

ランチタイム:全席自由 500円/ナイト:SS指定席2,000円 自由席1,000円

首席奏者の青木篤子を筆頭に、東京交響楽団のヴィオラ奏者である3人と、ヴィオラに魅せられたヴァイオリン奏者木村正貴によって結成された四重奏。普段オーケストラでは「緑の下の方持ち」として知られるヴィオラの、温かくそして時に情熱的な魅力に、気軽に触れてみる事ができます。Suica・PASMOを使えばチケットレスに入場できます(ナイトコンサート60は自由席のみ可)。

出演

ヴィオラ:青木篤子、大角 彩、
木村正貴、小西応興
(ともに東京交響楽団)

プログラム

ピアノ:アディオス・ノニーノ
ブルッフ:ヴィオラと管弦楽のためのロマンス(ヴィオラ四重奏版)
(※ナイトコンサートのみ)
ヨーク・ボウエン:幻想四重奏曲(ファンタジア) ほか



左から 小西応興、大角 彩、木村正貴、青木篤子 ©青柳 聡



名曲全集 2017-18シーズン
後期シリーズセット券

- 6/1(木) Web会員先行 発売開始
- 6/8(木) 一般発売開始

名曲全集 2017-18シーズン

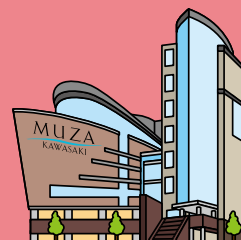
後期シリーズ(第131~135回)各回1回券

- 6/15(木) Web会員先行 発売開始
- 6/22(木) 一般発売開始

「オーケストラ入門!」

7月1日は川崎市の市制記念日、
ミュザの開館記念日でもあります。
家族やお友達も誘って、ミュザで
素敵な音楽に触れてみよう!

・ ミュザの日2017 /
ウェルカム・コンサート /



MUZA
KAWASAKI
SYMPHONY HALL
音楽のまち・かわさき

13:45から
プレトークも
お楽しみ
いただけます。

秋山和慶(指揮)
東京交響楽団(管弦楽)

朝岡聡(お話)

近藤 岳(パイプオルガン)

指揮者
体験コーナー

.....
あこがれの
マエストロになろう!

.....
*要事前エントリー
詳細は裏面

♪ ロッシーニ: 歌劇「ウィリアム・テル」序曲

♪ アンダーソンの名曲で楽器が大活躍! 「フィドル・ファドル」「クラリネット・キャンディ」「シンコペーテッド・クロック」「トランペット吹きの休日」

♪ ヴィドール: オルガン交響曲 第5番 op.42-1より「V. トッカータ」 ♪ 指揮者体験コーナー ♪ チャイコフスキー: スラブ行進曲

2017.7.1 [土] 14:00開演 (13:00開場 / 約70分 途中休憩なし) ミュザ川崎シンフォニーホール

全席指定(税込) 大人 ¥2,000 シニア(65歳以上) ¥1,500 こども(4歳~中学3年生) ¥500 ◎好評発売中

申込・お問合せ = ミュザ川崎シンフォニーホール Tel. 044-520-0200

主催 = 川崎市、ミュザ川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団グループ) 後援 = 川崎市教育委員会 協力 = バイオニア株式会社

2017年
6月

ミュージア川崎シンフォニーホール
コンサートカレンダー
CONCERT CALENDAR

「6月の催し」

*チケット料金、残席情報等は各公演の
お問い合わせ先までお尋ねください。

3 土
14:00

東芝フィルハーモニー管弦楽団 第42回定期演奏会

指揮:河地良智

ペリオリーズ:序曲「ローマの謝肉祭」/ エルガー:エニグマ変奏曲 / チャイコフスキー:幻想序曲「ロメオとジュリエット」/ チャイコフスキー:バレエ音楽「眠りの森の美女」から抜粋

お問合せ:演奏会実行委員長
080-5537-8596(森)

主催公演

4 日
14:00

ウィーン少年合唱団

カペルマイスター:ルイス・ド・ゴドイ 合唱:ウィーン少年合唱団(モーツァルト組)

【Bプログラム】ウィーン少年合唱団とつなぐ「世界の旅」/ ヴィヴァルディ:「グローリア」より / ビゼー:歌劇「カルメン」より / フォーレ:ピエ・イエズ / 菅野よう子:花は咲く 他

お問合せ:神奈川芸術協会 045-453-5080

主催公演

6 火
12:10
19:00

東京交響楽団 ヴィオラ四重奏

ヴィオラ:青木篤子、大角 彩、木村正貴、小西応興

ランチタイム ヨーク・ボウエン:幻想四重奏曲(ファンタジア) / ピアソラ:アディオス・ノニーノ 他

ナイト ヨーク・ボウエン:幻想四重奏曲(ファンタジア) / ブルッフ:ヴィオラと管弦楽のためのロマンス(ヴィオラ四重奏版) / ピアソラ:リベルタンゴ 他

川崎信用金庫 Presents MUZAランチタイムコンサート6月 / MUZAナイトコンサート60

10 土
13:30

ミュージア川崎ホリデーアフタヌーンコンサート2017前期

「4Cellos!」チェロ・カルテット 横坂源&辻本玲&伊藤文嗣&上森祥平

チェロ:横坂源、辻本玲、伊藤文嗣、上森祥平

曲目未定

お問合せ:神奈川芸術協会 045-453-5080

主催公演

11 日
14:00

ミュージア川崎シンフォニーホール&東京交響楽団

名曲全集 第128回 道義イチオン狂詩曲

指揮:井上道義 アルト・サクソフォン:上野耕平

《ラプソディ特集》シャプリエ:狂詩曲「スペイン」/ ドビュッシー:アルト・サクソフォンと管弦楽のための狂詩曲 / (アンコール)ビゼー:「アルルの女」第2組曲から「間奏曲」 他

15 木
15:00

明電舎創業120周年記念 N響 午後のクラシック

指揮:トン・コープマン フルート:カール・ハインツ・シュッツ ハープ:シャルロッテ・バルツェライト

モーツァルト:歌劇「魔笛」序曲 / モーツァルト:フルートとハープのための協奏曲 ハ長調 K.299(※変更なし) / モーツァルト:交響曲 第41番 ハ長調 K.551「ジュピター」

お問合せ:N響ガイド 03-5793-8161

※当初発表の指揮者・曲目が変更になりました。
ソリストの変更はございません。

主催公演

17 土
10:30

ミュージア川崎市民合唱祭2017

市内で活動する合唱団体

〈各合唱団の演奏〉全員合唱:かわさきのねいろ、好きです川崎愛の街

18 日
10:30

お問合せ:川崎市合唱連盟 044-829-2137

24 土
18:00

東京交響楽団 第651回 定期演奏会

指揮:秋山和慶 ホルン:フェリックス・クリーザー

ウェーバー:歌劇「オベロン」序曲 / J.ハイドン(偽作):ホルン協奏曲 第2番 二長調 Hob.VIId:4 / モーツァルト:ホルン協奏曲 第2番 変ホ長調 K.417 他

お問合せ:TOKYO SYMPHONY チケットセンター 044-520-1511

25 日
13:30

NEC玉川吹奏楽団創立60周年記念 第35回定期演奏会

指揮:稲垣征夫 パイプオルガン:小島弥寧子

チェザリニ:交響曲第1番「アークエンジェルス」作品50 / ヤン・ヴァンデルロースト:ダイナミカ / フランツ・フォン・スッペ(稲垣征夫編曲):喜歌劇「軽騎兵」序曲 他

お問合せ:NEC玉川吹奏楽団事務局
ntama-web@mamoad.jp

主催公演

27 火
19:00

モスクワ・フィルハーモニー管弦楽団

指揮:ユーリ・シモノフ ヴァイオリン:大谷康子

チャイコフスキー:ヴァイオリン協奏曲二長調作品35 / チャイコフスキー:交響曲第5番ホ短調作品64 他

お問合せ:コンサート・ドアーズ 03-3544-4577

MUZA
KAWASAKI
SYMPHONY HALL

お問い合わせ:ミュージア川崎シンフォニーホールチケットセンター

Tel. 044-520-0200 (10:00-18:00)

ミュージア川崎シンフォニーホール

川崎市幸区大宮町1310 JR川崎駅西口直結





東海道かわさき宿交流館

TOKAIDO KAWASAKI SHUKU KORYUKAN



江戸時代の粹に遊ぶ その26 「三味線(清元)」

日時:6月17日(土)14時～(13時半開場)

料金:1,500円 定員:80名(自由席)事前予約不要 会場:東海道かわさき宿交流館4階 集会室

出演:清元 栄志太夫



清元 栄志太夫 清元宗家理事 東京芸能人国保組合理事長

昭和15年、長野生まれ

昭和36年より歌舞伎と清元ファンになる

昭和39年、歌舞伎俳優12人会の推薦と六世清元延寿太夫の導きにより清元志壽太夫師の門下となり、長男の清元栄三郎師の通い弟子になる。

昭和40年4月5世家元 清元延太夫より清元栄志太夫の名を許される。尾上梅幸の「保名」で初舞台。

昭和50年、国立劇場の「稚魚の会」の「落人」で立語り。以後、中村雀右衛門の「落人」、中村芝翫の「保名」、中村富十郎の「お祭」、博多座で市川猿之助などの立語りを務める。

企画展

「覚えていますか？ 50年前の川崎駅周辺」展

大型都市模型でよみがえる半世紀前の川崎駅周辺

日時:開催中～7月30日(日)9時～17時

毎週月曜日(その日が祝・休日のときはその翌日を振替休館)

料金:無料 会場:東海道かわさき宿交流館3階 企画展示室

模型資料:川崎市市民ミュージアム



展示－宿場時代の川崎(2階)

江戸時代の川崎宿の歴史や当時の情報があります。
旅人の衣装を着て記念撮影もできます。



展示－江戸から現代へ(3階)

明治以降の川崎市の歴史や、ゆかりの人物などの展示があります。



貸館案内 4階の集会室は、ふれあいネット(川崎市公共施設利用予約システム)にて利用予約が必要です。

〒210-0001 川崎市川崎区本町1丁目8番地4

TEL.044-280-7321 FAX.044-280-7314

<http://www.kawasakishuku.jp/>

【アクセス】京急川崎駅より徒歩4分、

JR川崎駅東口より徒歩9分



東燃ゼネラルグループ Presents MUZAナイトコンサート60 今夜はパーカッションづくし!



パーカッション・アンサンブル・グループ「クラール」は、これまでもミュージアの「0歳からのコンサート」や「オープンハウス」などに出演してきました。今回はランチタイムコンサートとナイトコンサートに出演し、ランチタイムコンサートでは終演後にステージで打楽器を間近で見ていただく見学会も開催しました。ナイトコンサートでも元気いっぱいのステージを披露し、音楽でリフレッシュするひとときとなりました。(3月30日 ミューザ川崎シンフォニーホール)

子ども狂言教室発表会



日本の伝統文化「狂言」を学ぶ『子ども狂言教室』の発表会を行いました。

川崎市在住の小学校3年生から中学生を対象として、10月に受講生を募集し、12月後半にスタートした本講座。受講した子どもたちは、大蔵流山本家の狂言師たちによる指導のもと、全13回に亘る稽古を熱心に重ねました。5分以上かかる演目の台詞を全て覚えて、本番を迎えた子どもたち。本格的な衣装に着替え、緊張の面持ちで舞台裏にスタンバイします。先生ときちんと挨拶をしたのち、「ゆっくり大きな声で台詞を話すように」と最後の指導を受けて、神妙な面持ちでいざ能舞台へ。29名の小さな狂言師たちは、見事に稽古の成果を発揮し生き生きとしていました。(4月2日 川崎能楽堂)

ホールアドバイザー秋山和慶 &佐山雅弘企画 オーケストラで楽しむ映画音楽Ⅷ

大好評企画も8年目に突入! 完売御礼となり、満席のお客様に珠玉の映画音楽

を楽しんでいただきました。今年は豪華に谷桃子バレエ団との共演もあり、「ボレロ」ではこの公演のための振り付けで安村圭太さんがソロで踊りました。この公演のプログラムはご来場者のアンケートをもとに決められます。来年はどんなプログラムになるか、どうぞお楽しみに!



(4月8日 ミューザ川崎シンフォニーホール)

江戸の粋に遊ぶ その24 「曲師」



江戸の粋に遊ぶシリーズ、今回は「曲師(きょくし)」を行いました。曲師は浪曲の三味線奏者のことです。沢村豊子師匠を筆頭に、弟子の沢村美舟さん、浪曲師の玉川奈々福さんにお越しいただきました。

浪曲師は正面を向きますが、曲師は浪曲師の方向を見て演奏します。つまり演奏者の呼吸を計りながら「ハッ、ヨッ!」などと、合いの手を入れるのです。実はこれ、打合せなし、全部アドリブでやるとのこと。

催しは、浪曲の節の種類の説明、豊子師匠と美舟さんのインタビュー、そして最後に奈々福さんと豊子師匠の『左甚五郎 掛川の宿』を一席披露。「待ちました!」「日本一」「名調子!」などといった掛け声が会場に響き渡っていました。

次回は、6月17日(土)14時から「清元」を行います。お楽しみに。

(4月15日 東海道かわさき宿交流館)

第58回 ラゾーナ寄席

今年度最初のラゾーナ寄席は、大入り袋が出るほどの大盛況で賑やかにスタートしました。柳家小多げさんによる「黄金の大黒」で始まり、続いて林家たこ平さんによる、博打を題材にした「看板の一(ぴん)」。演者による楽しい司会で進行する



抽選会を経て、初音家左橋師匠が登場し、古典落語「転宅」を披露。ある家に盗みに入った泥棒。その家に住むお菊さんと意気投合し夫婦になる約束をしますが……。間抜けな泥棒の滑稽な姿がおかしく、会場から笑いがこぼれます。

トリは柳家喬太郎師匠が登場。枕(本題に入る前のお話)から、会場は爆笑の渦。そして披露された創作落語「路地裏の伝説」。昔の仲間が思い出話に花を咲かせます。仲間の一人が小学生の頃に体験した不思議な出来事の謎が明らかになります……。ミステリー調の語り口とともに何度も訪れる笑いどころ満載の一幕に、観客たちはお腹を抱えて大笑い。

ラゾーナ寄席は毎月第3火曜日に開催。お得な会員制度も人気です。

(4月18日 ラゾーナ川崎プラザソル)

アルテリッカしんゆり 沢田知可子 デビュー30周年記念 「こころ唄コンサート」



新百合ヶ丘でGWに行われる芸術祭「アルテリッカしんゆり2017」が、関連イベントを経て、4月22日に開幕しました。

初日は、今年デビュー30周年を迎えた沢田知可子さんのコンサート。前半は中西保志さんをゲストに迎え、楽しいトークとデュエットが披露されました。

後半は、約100名のゴスペルコーラスとの大合唱で、満席の会場は大盛り上がり。130万枚を超える大ヒットとなった「会いたい」のほか、名曲の数々が歌い上げられ、アンコールの「ありがとう」では、心のこもった歌声に涙を流す方もいました。

会場のワインバーも好評で、観客たちはお酒を片手に素敵な時間を楽しんでいました。

(4月22日 新百合トウェンティワンホール)

川崎市市民ミュージアム〈中原区〉

企画展／開催中～6月25日(日)

日本・デンマーク国交樹立150周年記念 アンデルセン展

あなたのそばにはいつもアンデルセンがいた

- 観覧料：一般600円、
65歳以上・高校生・大学生500円、
中学生以下無料



2017年は、デンマークとの国交樹立150周年という記念すべき年です。デンマークの国民的作家と言えばハンス・クリスチャン・アンデルセンです。世界中で愛読されている童話作家であり、日本でも多くの人が幼い頃よりアンデルセンのロマンと暖かみ溢れる童話に親しんできました。本展では、ハンス・クリスチャン・アンデルセン博物館（デンマーク・オーデンセ市）所蔵の貴重な資料約30点を展示し、アンデルセンの生涯と芸術の世界をご覧くださいいただけます。

アートギャラリー／開催中～6月25日(日) 観覧料：無料

◆デンマーク展 ～最新と古き良きものの融合～ アートギャラリー1

アンデルセンの生まれた街・オーデンセ市やデンマークの首都コペンハーゲンの都市の様子、人々の暮らしを紹介します。



アンデルセン童話の若手作家展

◆アンデルセン童話の若手作家展

アートギャラリー3

川崎市在住のイラストレーターNaffy(なふい)さんのアンデルセン童話をイメージしたイラストを展示します。

◆第34回アンデルセンのメルヘン大賞 原画展

アートギャラリー3

ペーカリービジネスを展開するアンデルセングループが主催する公募の童話大賞「アンデルセンのメルヘン大賞」。

その第34回受賞作品のためにプロのイラストレーター5名が描いた挿絵の原画を展示します。

イラストレーター：大の武男・坂本明美・庄司三智子・村田 収・吉田尚令

■アンデルセン展関連 特別講演会

「アンデルセンを輩出したデンマークの豊かなくらしや風土とデザイン」

【内 容】デンマーク デザインの国(学芸出版社)の著者であり、北欧デザイン研究の第一人者である島崎先生がデンマークのくらしや風土について語ります。

【日 程】6月11日(日)10:30～12:00※電話申込(044-754-4500)

【会 場】1F 道徳展示空間

【講演者】島崎 信

(武蔵野美術大学名誉教授、日本・デンマーク国交樹立150周年記念 親善大使)



■映像上映

アルゴ・プロジェクト特集 ～1990年代傑作選～

【内 容】気鋭の独立プロデューサーが結集して閉塞的な日本映画界に風穴を開けようと試みて、1990年代にユニークな傑作群を送り出した「アルゴ・プロジェクト」を特集します。個性豊かな俳優陣と新進監督たちを起用した映画の冒険をお楽しみください。

【日 程】6月3日(土)、4日(日)、10日(土)、11日(日)、17日(土)、18日(日)、24日(土)、25日(日)、7月1日(土) ※計9日間

【料 金】※1プログラムにつき

一般600円／65歳以上・大学生・高校生500円／小中学生400円

(未就学児、障害者手帳等をお持ちの方及びその介護者無料)

【上映スケジュール】6月 3日(土) 11:30『櫻の園』 14:30『12人の優しい日本人』

6月 4日(日) 11:30『あいつ』 14:30『死んでもいい』

6月10日(土) 11:30『喪の仕事』 14:30『ありふれた愛に関する調査』

6月11日(日) 11:30『渋滞』 14:30『ひき逃げファミリー』

6月17日(土) 11:30『さよなら、こんにちわ』 14:30『あいつ』

6月18日(日) 11:30『死んでもいい』 14:30『櫻の園』

6月24日(土) 11:30『ありふれた愛に関する調査』 14:30『渋滞』

6月25日(日) 11:30『ひき逃げファミリー』 14:30『さよなら、こんにちわ』

7月 1日(土) 11:30『12人の優しい日本人』 14:30『喪の仕事』

●各回入れ替え制です ●15分前に開場します



「櫻の園」

中原区等々力1-2(等々力緑地内) TEL. 754-4500 FAX. 754-4533

【アクセス】武蔵小杉駅北口バス約10分、清の口駅南口側バス約20分

【開館時間】9:30～17:00(入館16:30まで)

【休 館 日】毎週月曜日

http://www.kawasaki-museum.jp/

●ホームページ、Twitter、Facebookにて情報発信中



ホームページ



Facebook



Twitter



川崎市岡本太郎美術館〈多摩区〉

常設展／開催中～7月2日(日)

「岡本太郎 ー赤の衝動ー」展

岡本太郎は「あなたの好きな色は何ですか?」と尋ねられると必ず「赤」と答えていました。絵画作品でも象徴的に使われている「赤」は岡本太郎にとって炎や太陽、血、そして命の色でした。抽象絵画をこころざしたパリ留学から1980年代にいたるまで、岡本は赤の色彩をもちいた作品を数多く描いています。本展では、そんな岡本が生涯描き続けた「赤」の作品をご紹介します。



岡本太郎《傷ましき顔》1936/1949年

企画展／開催中～7月2日(日)

「岡本太郎×建築 ー衝突と協同のダイナミズム」展

壁面やモニュメントを数多くのこした岡本ですが、それらは親しく交流した建築家たちとの関係から生まれたものが少なくありません。建築家たちとの協同のなかで、岡本太郎の仕事は「美術」の枠を大きく超えて、豊かな広がりを獲得しました。本展は、日本が大きく飛躍をした時代、共に都市と時代を見つめた岡本太郎と建築家たちの交流に焦点をあて、建築と美術の協同のかたちについてご紹介します。



「日の室」製作中の岡本と丹下、1956年



「岡本太郎×建築」展ポスター

展覧会料金等

観覧料／一般1,000円(800円)、高・大学生・65歳以上800円(640円)、中学生以下無料
()内は20名以上の団体料金

【関連イベント】

◆レクチャーシリーズ「建築とアート」

企画・司会：藤原徹平(建築家・本展会場構成)

第1回 鈴木了二(建築家) ●日時：5月13日(土) 14:00～

第2回 青木 淳(建築家) ●日時：5月20日(土) 14:00～

第3回 中山英之(建築家) ●日時：5月27日(土) 14:00～

第4回 名和晃平(彫刻家) ●日時：6月 3日(土) 14:00～

●場 所：美術館ガイダンスホール、企画展示室

●定 員：各回70名程度(要予約・要観覧券)

●申し込み：電話のみ(044-900-9898)先着順 受付中

◆映像上映

「かわった形の体育館(総集編)」1964年

(資料提供：清水建設株式会社)約20分

「日本万国博覧会1970年テーマ館「太陽の塔」制作記念フィルム」

約20分

●日 時：6月25日(日)、7月2日(日) 14:30～

●場 所：美術館ガイダンスホール

●定 員：各回70名(当日先着順・無料)

多摩区枳形7-1-5 TEL. 900-9898 FAX. 900-9966

【アクセス】小田急線向ヶ丘遊園駅南口徒歩17分、北口バス約10分

専修大学前下車徒歩6分

【開館時間】9:30～17:00(入館16:30まで)

【休 館 日】毎週月曜日

http://www.taromuseum.jp

●ホームページ、
Facebookにて
情報発信中



ホームページ



Facebook



アートガーデンかわさき・市内ギャラリー・美術館等の展覧会情報

- 掲載情報は原則入場無料です。ただし、有料マークのある施設は入場料が必要な催し物の情報が含まれています。
- 各施設とも、催し物の内容・会期・料金等が変更になる場合がございますので、ご確認の上ご来館ください。 □=休館日

Event Calendar

2017.6

		1 Thu	2 Fri	3 Sat	4 Sun	5 Mon	6 Tue	7 Wed	8 Thu	9 Fri	10 Sat	11 Sun	12 Mon	13 Tue	14 Wed	15 Thu	16 Fri	17 Sat	18 Sun	19 Mon	20 Tue	21 Wed	22 Thu	23 Fri	24 Sat	25 Sun	26 Mon	27 Tue	28 Wed	29 Thu	30 Fri	7/1 Sat						
アートガーデンかわさき〈川崎区〉 川崎区駅前本町12-1 川崎駅前タワー・リパーク3F TEL.200-1415 【休館日】毎週月曜日		第1展示室	啓明書道展 ～6月4日(日)				花のある風景写真 6月6日(火)～11日(日)					堀野書道学校 第33回書法展 6月13日(火)～18日(日)					創立40周年記念 革の花作家展 6月20日(火)～25日(日)					第25回 かわさき市民 アンデパンダン展 6月27日(火)～7月9日(日)																
		第2展示室	川研写真展 ～6月4日(日)				第3回 パーカー倶楽部写真展 6月6日(火)～11日(日)				第36回 宗央会 6月20日(火)～25日(日)																											
		第3展示室	緒方真太郎回顧展 ～6月4日(日)				第7回四季の彩写真・ 生花＋α展 6月6日(火)～11日(日)																															
川崎市教育文化会館市民ギャラリー〈川崎区〉 川崎区富士見2-1-3 TEL. 233-6361 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)								第41回 みゆきフォトクラブ写真展 6月9日(金)～14日(水)																														
ミューザ川崎シンフォニーホール 4F企画展示室〈幸区〉 幸区大宮町1310 TEL.520-0300 【休館日】6/19(月)		秋水・造汀記念展 ことばが奏でる書 ～6月5日(月)																			第21回 川崎市フラワーデザイン展 6月24日(土)～25日(日)																	
中原市民館市民ギャラリー〈中原区〉 中原区新丸子東3-1100-12 パークシティ武蔵小杉ミッドスカイトワー1、2階 TEL. 433-7773 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		中原素描研究会 中原デッサン展 6月2日(金)～7日(水)						中原押花会 展 6月9日(金)～14日(水)					アトリエキューキュー作品展Vol.2 6月16日(金)～21日(水)※19日休館					ほのぼのな仲間達写真展 6月23日(金)～28日(水)					多摩川写友会 写真展 6月30日(金)～7月5日(水)															
川崎市市民ミュージアム〈中原区〉 中原区等々力1-2(等々力緑地内) TEL. 754-4500 【休館日】毎週月曜日(祝日の場合は開館)		企画展	● 有料 日本・デンマーク国交樹立150周年記念 アンデルセン展 あなたのそばにはいつもアンデルセンがいた ～6月25日(日) 観覧料：一般600円、65歳以上・高校生・大学生500円、中学生以下無料																			 アンデルセン展 アンデルセン制作の切り絵 1850年代 ハンス・クリスチャン・アンデルセン博物館蔵 ©Odense City Museums																
		アート ギャラリー	デンマーク展 ～最新と古き良きものの融合～ ～6月25日(日)																																			
			アンデルセン童話の若手作家展 ～6月25日(日)																																			
			第34回アンデルセンのメルヘン大賞 原画展 ～6月25日(日)																																			
高津市民館市民ギャラリー〈高津区〉 高津区溝口1-4-1 ノクティ2(12F) TEL. 814-7603 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		フォトサークル宮前 写真展 6月2日(金)～7日(水)						高津市民館 サークル祭 6月9日(金)～14日(水)					高津どんなもんじゃ祭 6月16日(金)～18日(日)								第9回YPC川崎支部写真展 6月23日(金)～28日(水)					水曜絵画サークル 作品展 6月30日(金)～7月5日(水)												
宮前市民館市民ギャラリー〈宮前区〉 宮前区宮前平2-20-4 TEL. 888-3911 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		押し花ユリノキ会作品展 6月2日(金)～7日(水)						童心会書道作品展 6月9日(金)～14日(水)					宮前写真研究会展 6月16日(金)～21日(水)※19日休館								宮前区文化協会研究発表会展示部会 6月23日(金)～28日(水)					新神木シニア会 絵画と写真のサークル展 6月30日(金)～7月5日(水)												
多摩市民館市民ギャラリー〈多摩区〉 多摩区登戸1775-1(多摩区総合庁舎内) TEL. 935-3333 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		和紙絵 高峰会 6月2日(金)～7日(水)						第10回多摩いきいき写真クラブ写真展 6月9日(金)～14日(水)					第17回多摩ふれあいまつり 6月16日(金)～21日(水)※19日休館								地図を片手に旅だより サークル地図の旅 6月23日(金)～28日(水)																	
川崎市岡本太郎美術館〈多摩区〉 多摩区枳形7-1-5 TEL.900-9898 【休館日】毎週月曜日(祝日の場合は開館)		企画展	● 有料 企画展「岡本太郎×建築 – 衝突と協同のダイナミズム」展 ～7月2日(日) 観覧料：一般1,000円、高・大学生・65歳以上800円、中学生以下無料																			 岡本太郎《日の壁》 原画 1956年																
		常設展	● 有料 常設展「岡本太郎の – 赤の衝動」展 ～7月2日(日) 観覧料：一般1,000円、高・大学生・65歳以上800円、中学生以下無料																																			
麻生市民館市民ギャラリー〈麻生区〉 麻生区万福寺1-5-2 TEL. 951-1300 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		楽しいカリグラフィー 6月2日(金)～7日(水)※5日休館						しまりすアートクラブ 作品展 6月9日(金)～14日(水)					パステル画研究会 6月16日(金)～21日(水)※19日休館					おり紙の会 作品展 6月23日(金)～28日(水)																				

(注)会期、時間等は各団体により、変更になることがありますので、ご確認の上ご来場ください。

新百合ヶ丘で 豪華レビュー 公演開催



菅沼 哲

大野朋来

神崎 順

浦野祥鷹

長澤仙明

三井慎太郎

きらびやかな衣装に身を包み、歌・踊り・寸劇などを華麗にショー形式で展開するレビュー。レビューが日本で宝塚少女歌劇団により初めて上演されて90周年を迎える今年、川崎市麻生区で本格派レビューの公演が実現します。

元宝塚スターをはじめ、ミュージカル界で活躍するエンターテイナーが集う豪華な舞台。

この公演に出演するボーイズレビューユニット「10carats(テンカラット)」のメンバーである皆さんと、このユニットの生みの親であり、かわさき産業親善大使でもある神崎順さんに、レビューの魅力と今回の公演の見どころについてお話を伺いました。

世界初の男性レビューユニット

——「10carats」についてお聞かせください。

神崎：レビューは、日本では女性中心の特殊な世界と思われがちですが、欧米では男女で上演されるのが一般的です。この素晴らしい文化を守り広めていくために、世界のどこにもないボーイズレビューユニット「10carats」を、川崎に誕生させました。

リーダーの浦野祥鷹は芝居、大野朋来は歌、長澤仙明はタップダンス、菅沼哲はミュージカル、三井慎太郎はダンスや日本舞踊と、それぞれの分野で活躍していたメンバーが集結しました。

昨年9月には「かわさき産業親善大使」に任命していただき、川崎市発展の一角を担うべく活動しています。また、自分たちのできる歌と踊りで川崎を広めていきたいと思い、「愛のまち・かわさき」という曲を作って、イベントや公演で毎回歌っています。

地域に愛されるスターを目指して

——どのような活動を展開されているのでしょうか。

神崎：劇場定期公演のほか、ラゾーナ川崎や、川崎市のイベント出演、また、市内の店舗・企業PRなど、様々な活動をしています。先日はとどろきアリーナで行われた川崎大相撲春場所で、チケットもぎりやお弁当配りをボランティアで行いました。地元の方々



が「去年もいたね」と話しかけてくださってとても嬉しかったです。新しいことに挑戦しながら、地域密着型の、気軽にお声掛けをしていただけるようなメンバーでありたいと思っていますし、この町が誇れるカンパニーとして成長していきたいです。川崎の皆さんにレビューを知ってもらい、一緒に育てていただきたいというのが私の願いです。

必見の華やかなレビューショー

——メンバーの皆さま、この公演にける想いをお聞かせください。

浦野：レビューを川崎から広めるんだという想いで、切磋琢磨して皆様に喜んで頂ける作品を創っていきたくと思います。僕は芝居出身なので、レビューのシーンごとにどう演技分けているか、ぜひ注目してください。

大野：「レビューのまち川崎」にしていこうことが僕らの目標です。僕は歌、特にハイトーンが持ち味です。今回の公演も沢山歌わせて頂くので、どうぞご期待ください。

長澤：僕はタップダンスが得意分野なので、タップダンスがレビューに取り込まれると、どう変化するのか見て頂きたいと思います。

メイクや衣装なども見どころの一つなので、楽しんでください。

菅沼：男性のお客さんにもレビューを観て頂きたいです。毎回、全員で黒の燕尾服を着て踊るシーンがあるのですが、そこは見ものです。僕たちが先頭に立って、ゆくゆくは川崎からレビュースターが誕生したと言って頂ける様に頑張ります。

三井：神崎さんの歌詞には愛、夢、希望というポジティブな言葉がたくさん散りばめられているので、この言霊を川崎の皆さんに広めていけたらという強い想いがあります。

この舞台に立てることが嬉しく、笑顔で愛を届けます。

レビューを通して 川崎を世界にPR

——レビューの魅力と今後についてお聞かせください。

神崎：レビューは舞台芸術の全てが詰まったおもちゃ箱をひっくりかえしたような楽しい世界です。こんなに夢があって綺麗で、わくわくする芸術は他にないと思います。初めての方でも敷居は高くありませんので、ぜひこの機会にレビューを知ってほしいと思いますし、それぞれの分野のエキスパートがぶつかり合って総合芸術を奏でますので、一度に何通りもの楽しみ方ができます。

この新百合ヶ丘を拠点として、レビューを全国、世界に発信していきたいと考えております。僕たちがあらゆる分野で活動すればするほど、川崎も有名になるという相乗効果を願い、大使であることを忘れずに川崎を世界に広めるために更に精進して参りたいと思います。

公演概要

10carats
「FABULOUS REVUE BOYS」
ファビュラスレビューボーイズ
Vol.14 Dream Selection

日程 ● 2017年6月30日(金)～7月2日(日)
6/30(金) 18:30
7/ 1(土) 12:00/16:00
7/ 2(日) 12:00/16:00

会場 ● 川崎市アートセンター
アルテリオ小劇場

(小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩3分)

チケット ● 全席指定 ¥8,500

チケット予約 ● TEL/FAX 044-989-3589

<http://junkanzaki.cart.fc2.com/>

お問い合わせ ● esp.revue@gmail.com

企画・制作 ● ESP(Eternal Splendor Promotion)

アルテリオ小劇場

〒215-0004 川崎市麻生区万福寺6-7-1
TEL.044-955-0107 FAX.044-959-2200
http://kawasaki-ac.jp/
【アクセス】小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩3分



しんゆりジャズスクエアvol.29

野口久和ザ・ビッグバンド

野口久和ザ・ビッグバンドが川崎市アートセンターオープン10周年を彩ります。スイングや映画音楽の名曲をビッグバンドでゴージャスに！

〈予定曲〉Take the 'A' Train、Memories of you、Caravan、
Stardust、Apple Honey ほか

2017年6月23日(金) 19:00開演 ※開場は開演の30分前

【出演者】野口久和ザ・ビッグバンド

【チケット】4,000円(全席自由・税込)



★サポーターズチケット★

年間5回を予定している「しんゆりジャズスクエア」をもっと大勢の方に楽しんで頂きたいと、3種類のお得なチケットをご用意しました！ご家族や、ご友人と一緒にぜひお越しください！

〈年間パスポート：13,000円〉開場10分前までにお越し頂ければ、優先入場。前売完売でもご入場頂けます。

(ご本人のみご利用可能。公演当日、会場にてチケットとお引き換え下さい。)

〈2枚セット券：7,000円〉公演ごとにご使用頂けます。 〈4枚セット券：12,000円〉公演ごとにご使用頂けます。

- 【今後のラインナップ】 ● 2017年 9月29日(金) 昭和音大講師・守屋純子を中心に、講師陣・卒業生・学生のコラボレーション
● 2017年11月24日(金) ジャズメッセンジャーズの名曲を女性ミュージシャンを中心に
● 2018年 1月26日(金) アントニオ・カルロスジョビンのボサノバ名曲特集
● 2018年 3月23日(金) 春休み！親子で楽しむジャズ！

第51回川崎市アートセンター

しんゆり寄席

古典落語を代表する一作「井戸の茶碗」をしんゆり寄席世話人の桂米多朗がお届けします。

正直者の屑屋の清兵衛は、浪人の千代田ト斎から仏像を200文で買い取って欲しいと懇願される。買い取った仏像を籠に入れ清兵衛が町を歩いていると、侍の高木左太夫の目にとまり300文で引き取られる。左太夫が仏像を磨いていると、なんと中から五十両もの小判が…。

登場人物がみんな実直な善人で、爽快感ある人情噺。

2017年6月24日(土) 14:00開演 ※開場は開演の30分前

【出演者】桂米多朗、初音家左橋、瀧川鯉八、笑福亭希光

【チケット】一般2,000円／学生1,000円(全席自由・税込) ※発売日 5月26日(金) ※未就学児童のご入場はご遠慮下さい。



桂米多朗



初音家左橋

★大旦那衆セット、プレミアムセット★

年間10回開催する「しんゆり寄席」で、いつでもご利用頂けるセット券。お一人で毎月通うも、お連れ様と一緒にでもお使い頂けます。

● プレミアムセット：4枚1組 6,000円 ● 大旦那衆セット：10枚1組 12,000円

※有効期限は2018年3月公演までとなります。払い戻しは致しません。

【お知らせ①】終演後、演者との交流会を開催します。嘶家たちとお話してみませんか。ご希望の方は公演当日受付にてお申込下さい。(1時間程度、参加費1,000円)

【お知らせ②】仲入りで演者からのプレゼントが当たる抽選会を開催。

チケット取扱い：川崎市アートセンター

[tel] 044-959-2255(9:00～19:30、土日祝・原則毎月第二月曜除く) [WEB] http://kawasaki-ac.jp/th/

[窓口] 9:00～19:30(原則毎月第二月曜除く)

● ジャズスクエアの電話予約はマイタウンチケットセンターでのみお取扱いしております。

044-954-9990(月～金、10:00～18:00)

● 学生券は窓口のみ取扱い。要学生証提示。 ● パスポートとセット券は窓口とお電話のみ取扱い。



©2016 K Film Manchester LLC. All Rights Reserved.

MANCHESTER BY THE SEA マンチェスター・ バイ・ザ・シー

About the film

作品について

2016年 | アメリカ | カラー | 2h17

監督：ケネス・ローナーガン

出演：ケイシー・アフレック、ミシェル・ウィリアムズ、カイル・チャンドラー

◆第89回アカデミー賞主演男優賞・脚本賞受賞

ボストン郊外でアパートの便利屋として働くリーは、兄の急死により、16歳の甥の後見人として故郷に帰ってくる。思春期の甥と共同生活を始めた彼は、一度は捨てた故郷で、新たな人生を歩もうとするが…。小さな町の間人ドラマが、忘れがたい余韻を残す珠玉作。アカデミー賞主演男優賞・脚本賞受賞。

5.27-6.23

Kenneth Lonergan interview

ケネス・ローナーガン監督インタビュー

書いたものについて、なぜそれを書いたかを知ることはできない。

何であれ「創造」と呼ばれるもののきっかけは、アーティスト本人の個人的な心理に根差しているから、他人にとって興味深いものとは言えないだろう。

僕は、その「きっかけ」ではなく、「結果」が興味深いものとなることを望みたい。映画作りで僕が好きなのは、僕自身のプライベートな想像力のもと生まれた物語が、他人の感情の所有物となるというプロセスだ。物語が、一緒に作る仲間に委ねられ、感情やアイデアを付与され育まれ、花開く。言うなればそれは全員共有のファンタジーとなり、最終的に観客に手渡される。望むらくは、それが彼らの内なる生命の一部とならんことを。

(宣伝用プレスシートより抜粋。校正・文責=川崎市アートセンター 協力=ビタース・エンド)



©2016 Jackie Productions Limited

ジャッキー ファーストレディ 最後の使命

2016年 | アメリカ、チリ、フランス | カラー | 1h39
監督：パブロ・ラライン 出演：ナタリー・ポートマン、ピーター・サースガード、グレン・ガーウィグ

6.3-6.16

1963年11月22日、ジョン・F・ケネディ大統領はダラスでのパレードの最中に銃撃される。“ジャッキー”の愛称で親しまれる大統領夫人、ジャクリーン・ケネディは深い悲しみに浸りながらも最愛の夫の功績を後世に残すため、最後の使命に身を投じる。世紀のファーストレディの知られざる物語。



©Richard W. Brown

ターシャ・テューダー 静かな水の物語

2017年 | 日本 | カラー | 1h45
監督：松谷光絵 出演：ターシャ・テューダー、セス・テューダー

6.3-6.23

アメリカを代表する絵本作家であり、〈スローライフの母〉であるターシャ・テューダー。自然と寄り添い、花と動物に囲まれながら暮らしてきた彼女のユーモアたっぷりの生活を10年間にわたり取材し、多くのひとを魅了する暮らしを映し出すドキュメンタリー。



©The Warner Production AG. All rights reserved.

幸せなひとりぼっち

2015年 | スウェーデン | カラー | 1h56
監督・脚本：ハンネス・ホルム 出演：ロルフ・ラスゴード、イーダ・エングヴォル

6.10-6.23

愛する妻を亡くし、生きる希望を失くした孤独な中年男オーヴェ。ある日、新しい隣人が引っ越してきた事をきっかけに、再び生きる希望に恵まれ、自分の人生を見つめ直していく姿をユーモラスかつ詩情たっぷりに描くヒューマンドラマ。ベストセラー同名小説の映画化。



©2016 MFP Productions LLC

メットガラ ドレスをまとった美術館

2016年 | アメリカ | カラー | 1h31
監督：アンドリュー・ロッシ 出演：アナ・ウィンター、ウォン・カーウアイ

6.24-7.7

2015年5月2日、NYメトロポリタン美術館で伝説のイベント《メットガラ》が開催された。《ファッション界のアカデミー賞》とも呼ばれるこのイベントを仕掛けるのは“ブラダを着た悪魔”ことアナ・ウィンター。世紀の一夜のために奮闘する8か月に密着したドキュメンタリー。



©Copyright 2014 by Fortell Films

エルミタージュ美術館 美を守る宮殿

2014年 | イギリス | カラー | 1h23
監督・脚本・製作：マーギー・キンモンス

6.24-7.7

フランスのルーヴル、米国のメトロポリタンと並び世界三大美術館のひとつと言われるロシアのエルミタージュ美術館。ダ・ヴィンチやミケランジェロの作品や今まで公けにされることのなかった貴重なコレクションを映し出し、250年美を守り続けてきた世界最大級の美術館に迫ったドキュメンタリー。



© 2015 Jafar Panahi Productions

人生タクシー

2015年 | イラン | カラー | 1h22
監督・出演ジャファル・パナヒ

6.10-6.23

政府への反体制的な活動を理由に、映画監督禁止令を受けながらも、監督自身がタクシー運転手に扮し、情報統制下にあるテヘランの街に暮らす乗客たちの人生模様を描き出す。世界三大映画祭を制覇したイランの名匠ジャファル・パナヒ監督による勇気とユーモアに満ち溢れた、心揺さぶる新たな傑作。

D・A・ペネベイカー監督作品連続上映



ジギー・スターダスト

1973年 | イギリス | カラー | 1h30
監督：D.A. ペネベイカー 出演：デヴィッド・ボワイ、ミック・ロンドン

6.17-6.23

2016年1月10日に惜しまれつつこの世を去ったロック界の伝説的スター、デヴィッド・ボワイ。「5年後に滅びようとする地球の救世主ジギー・スターダスト」という架空のロックアイコンに扮したツアーの最終公演である。英ロンドンのハマースミス・オデオンで行った歴史的コンサートの模様を収録したドキュメンタリー。



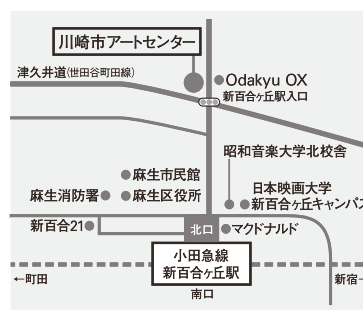
©2016 Rembrandt Hogedius film inc.

ドント・ルック・バック

1967年 | アメリカ | モノクロ | 1h36
監督・脚本：D・A・ペネベイカー 出演：ボブ・ディラン、アレン・ギンズバーク

6.24-6.30

2016年“偉大なる詩人”としてノーベル文学賞を受賞したボブ・ディラン。本作は1965年4月〜5月、英国ツアー中のボブ・ディランを追ったドキュメンタリー。フォークを歌う詩人からポップ・ミュージックの変革者へと進化しようとしていたディランの姿が鮮やかに映像に刻まれている。



川崎市アートセンター

〒215-0004 神奈川県川崎市麻生区万福寺 6-7-1
Tel. 044-955-0107 Fax. 044-959-2200
info@kawasaki-ac.jp
http://kawasaki-ac.jp/

小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩3分

◆映画のチケットは9:00より受付にて販売
◆自由席、整理番号順入場、立見不可



毎月

第3火曜日
のお楽しみ
2017

ラゾーナ寄席

第60回

6月20日(火) 17:30受付開始/18:00開場/18:30開演

※当日券は18:00から販売します

■会 場…ラゾーナ川崎プラザソル

〒212-8576 川崎市幸区堀川町72-1 ラゾーナ川崎プラザ5F

■出 演…三遊亭小歌・初音家左橋・柳家わさび・金原亭小駒

■入場料…全席自由2,000円・25歳以下1,000円

(終演後のおたのしみ“交流会”…希望者のみ・参加費1,500円)

■予約・お問合せ／ラゾーナ川崎プラザソル

電話 044-874-8501 FAX 044-520-9151

E-mail: info@plazasol.jp http://www.plazasol.jp



三遊亭小歌

第9回 かわさき演劇講座

参加者
募集!

即興(カラダ)と戯曲(コトバ)と《演劇》の関係

日 程 ● 7/22(土)・23(日)

10:00~17:00(予定)

会 場 ● スペース京浜(川崎市幸区古市場2-109)

定 員 ● 40名

対 象 ● 演劇未経験、経験問わず。年齢は中学生以上
受講料(2日間) ● 大人1,500円/高校生500円(予定)

講 師 ● 小山裕嗣(演出家)

丸尾 聡(劇作家・演出家) 他

内 容 ● 市民に開かれた市民のための演劇講座。7月に9回目を開催します!今回は「即興」「戯曲を読む」の二つの角度から「作品」を体験・検証・解明しながら「演劇」に光を当ててみます。一体どんな講座に?? 好奇心旺盛な皆様の参加をお待ちしております!



前回の様子

お申込み
方 法

①氏名 ②年齢 ③ご住所 ④連絡先(電話番号またはE-mailアドレス)をお書き添えの上、FAXまたはお電話でお申込み下さい。

申 込

かわさき演劇まつり実行委員会

FAX 044-533-6694

メール matsuri_engeki@yahoo.co.jp

申込締切

7月15日(日)

お問い合わせ

電話 044-511-4951

主催:かわさき演劇まつり実行委員会・公益財団法人川崎市文化財団

公益財団法人 川崎市文化財団

〒210-0007 川崎市川崎区駅前本町12-1(リパーク3F)
TEL.044(222)8821(代表) FAX.044(222)8817
http://www.kbz.or.jp
平成29年6月1日発行

川崎市文化財団

検索

かわさきアートニュースの制作には、川崎市文化振興基金が活用されています。

●印刷・製本/八幡印刷(株) TEL.044-542-2311